

事業紹介

平成25年7月
おいしい山形の食と文化を考える会

【 概要 】

- ・会員数:41 賛助会員数:6 (内2が兼アドバイザー)
- ・代表者:早坂 稔 (割烹とりや:新庄市)
- ・設立年月 平成18年 4月 (活動開始 平成17年 6月)

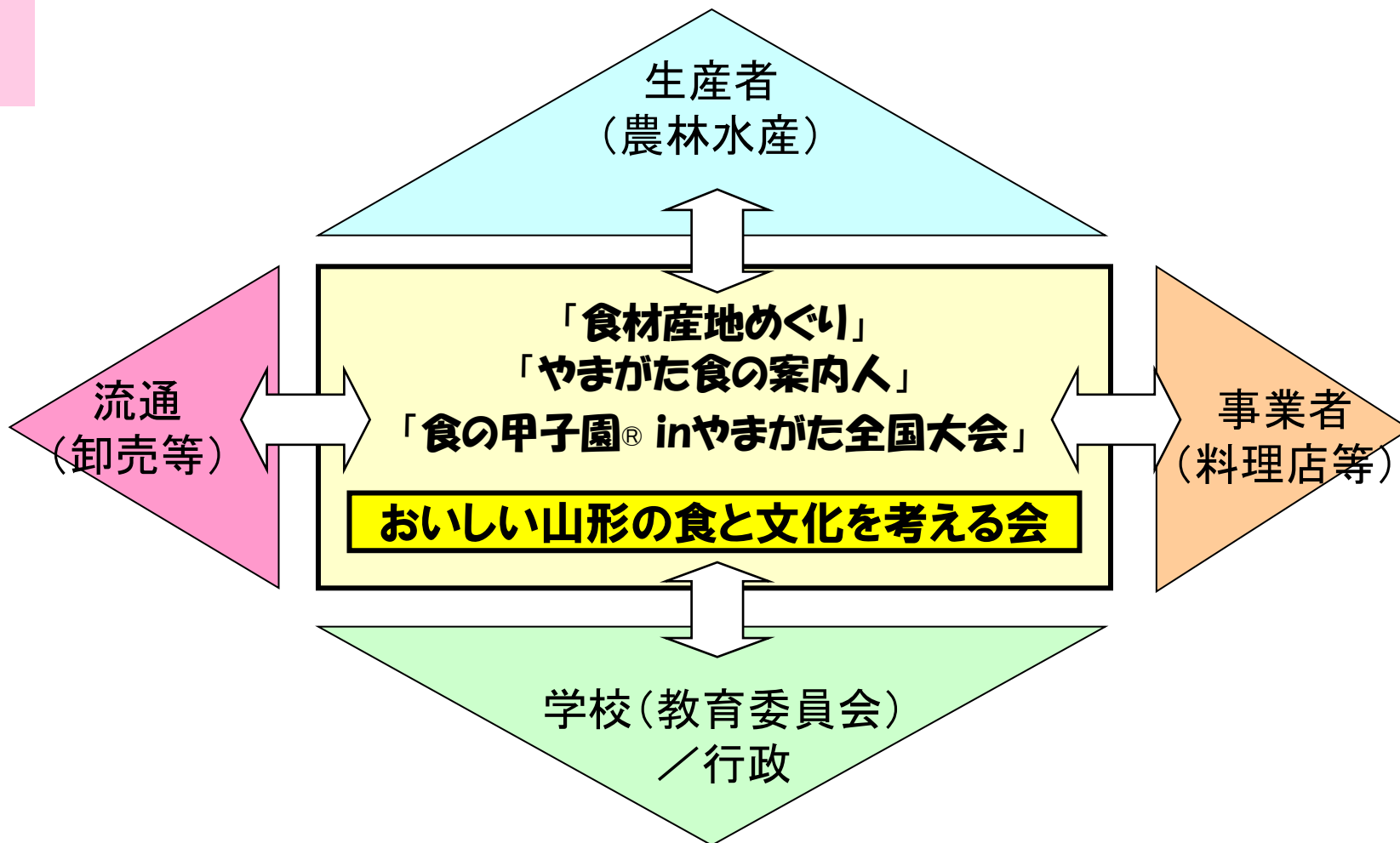
団体の活動目的(会則より抜粋)

日本の食の多様化の中で、安心と安全、調和のとれた食のあり方を研鑽し、山形の食と文化を継承伝達することを目的とする。

・主な活動内容(事業内容:会則より抜粋)

- 1 食と文化にかかわる研究と啓発をはかる事業
- 2 伝統伝承料理の発掘、復活につとめる事業
- 3 食生活の指針、衛生規準の普及や健全な食の知識の普及、提言につとめる事業
- 4 その他、高校生の「食の甲子園」など会の発展に寄与する諸事業
- 5 和食の世界遺産(無形文化遺産)登録に向けた諸活動及び関連支援事業。
- 6 団体・機関等の表彰など

【団体の活動のための関係領域相関】



これまでの主な活動実績 ①



旬の食材産地めぐり

この事業では料理人による県内食材の利用拡大を目指し、各総合支庁と連携して産地を巡り、実需者と生産者との直接交流を通して新たな視点で食材としての可能性を発見・認識してもらい、県産農産物の利用拡大及び農と食の活性化を図っています。

- ・平成20年度 : 村山地区3回
- ・平成21年度 : 庄内地区1回 村山地区2回
- ・平成22年度 : 庄内地区1回 村山地区2回
置賜地区1回
- ・平成23年度 : 置賜地区 2回 村山地区1回
- ・平成24年度 : 最上地区1回 村山地区1回
置賜地区2回



飯豊町《宇津沢かぼちゃ》



尾花沢市《南沢かぶ》



村山手づくり卵農場《紅輝卵》



鮭川村庭月《食用ほおずき》



さわ農園 《豆腐》



大高根じゅんさい採取組合《じゅんさい》



大富農産《山形山葵 雪芭蕉》



JA山形おきたま愛菜館《ブドウ》

これまでの主な活動実績 ①



やまがた食の案内人

旬の食材や産地の話、更には食べたい料理や好みに応じたお店選びの相談が出来る「**食の案内人**」と、山形県内の“おいしい話題”を指南してくれる「**食の番所**」を掲載し、庄内・最上・村山・置賜の4地域それぞれの郷土料理や歴史を絵巻として特集したパンフレットの監修とその実施にも携っています。

- ・平成19年度：試行
- ・平成20年度以降：実施継続中



これまでの主な活動実績 ②



食の甲子園®やまがた大会、プレ南東北大会 & 全国大会

私たち「おいしい山形の食と文化を考える会」は山形県と連携しながら、事業の一つとして県内に残る在来・伝承食材に光を当てて、食と文化の継承を担う高校生の持つ若い感性に期待をかけ、食育という視点を付与して平成17年に第1回【食の甲子園®やまがた大会】を開催しました。

その後「食の甲子園®」は考える会の目的「山形の食と文化を継承伝達する」を大事にしながら関係者の協力を仰いで平成24年度までに計8回の大会開催を実施してきました。



第1回



第2回



第3回



第4回



第5回



第6回-1



第6回-2



第7回



第8回

これらポスターのデザインは次の方々の協力で制作されています。
第1回:株式会社大風印刷 第2回～第8回:山形デザイン専門学校

これまでの主な活動実績③



食の甲子園®の成果から「農・商・高」連携による

【食育事業成果をビジネスへ橋渡し】へ

平成24年度には山形県商工労働観光部の委託「食の甲子園®レシピ」を活用した観光誘客事業”として、平成23年度に試作した『開発レシピ』を基にしてプロの料理人の目でレシピを見直し『プロ仕立て料理』として仕上げました。これらは地元の食材を使った「**地域性**」、季節ごとに限られた食材を使った「**季節性**」、伝承・伝統料理に基づいた「**伝統性**」にプロの料理人の「**技**」を注いだもので、山形県内外から訪れるお客様に【**食の甲子園®物語メニュー**】として県内店舗で提供することをめざします。

そして、県内外から多くの観光客に訪れてもらい山形の食と文化を味わってもらうため、エリアの象徴として聖域、楽園、豊穡の地という意味合いを込めて

「**食のサンクチュアリ山形**」

と表現してみました。



活動に対する外部評価例



フード・アクション・ニッポン アワード2010
コミュニケーション・啓発部門 優秀賞 受賞





コミュニケーション・啓発部門 優秀賞

**食の甲子園inやまがた全国大会～料理人と高校生が結ぶ地域の「食」と「農」～
おいしい山形の食と文化を考える会**

〒990-0041 山形県山形市緑町3-7-55-3
e-mail: coysbkk@gmail.com

地域の豊かな食と文化を次代に伝えていこうと「おいしい山形の食と文化を考える会」が平成17年慶に高校生による「食の甲子園やまがた大会」を開催した。第2回からは山形県などと連携し、開催第3回からは宮城県、福島県からの招待高校も迎えたためブレ南東北大会とし、平成22年度は「全国大会」として開催された。食の甲子園は、単に料理技術や出来栄の優劣を競うのではなく、食材が何故その土地に受け継がれてきたか、生産者の思いはどうか、どのような食べ方があるかなどを調査研究し、新たな視点を加味して料理を創作するものであり、食材を生かすための工夫とこれらのプレゼンテーションの内容も重視される総合評価型のコンテストをする。食と農のコラボで「もう一つの日本」の発掘と継承を行っていく。



商標登録 取得

